

「親子で作って遊ぼう」をテーマに11月16日(日)中央会館にて開催いたしました。



＜参加者は、子供70名(親子で参加)＞

今年度は、開催時間を長くしたり、出入り自由にしたたり、スタンプラリー方式で好きなブースから遊んでもらいました。

クリスマスカード・クリスマスリース作りでは、お母さんと一緒に折り紙やシールを貼ったりしていました。わりばしパチンコは、お父さんの出番です。



＜クリスマスカード・クリスマスリース作り＞



＜わりばしパチンコ＞

人気があったのはプラバンキーホルダー。ペラペラのプラバンが小さく固くなり世界で1つだけの宝物が出来上がりました。



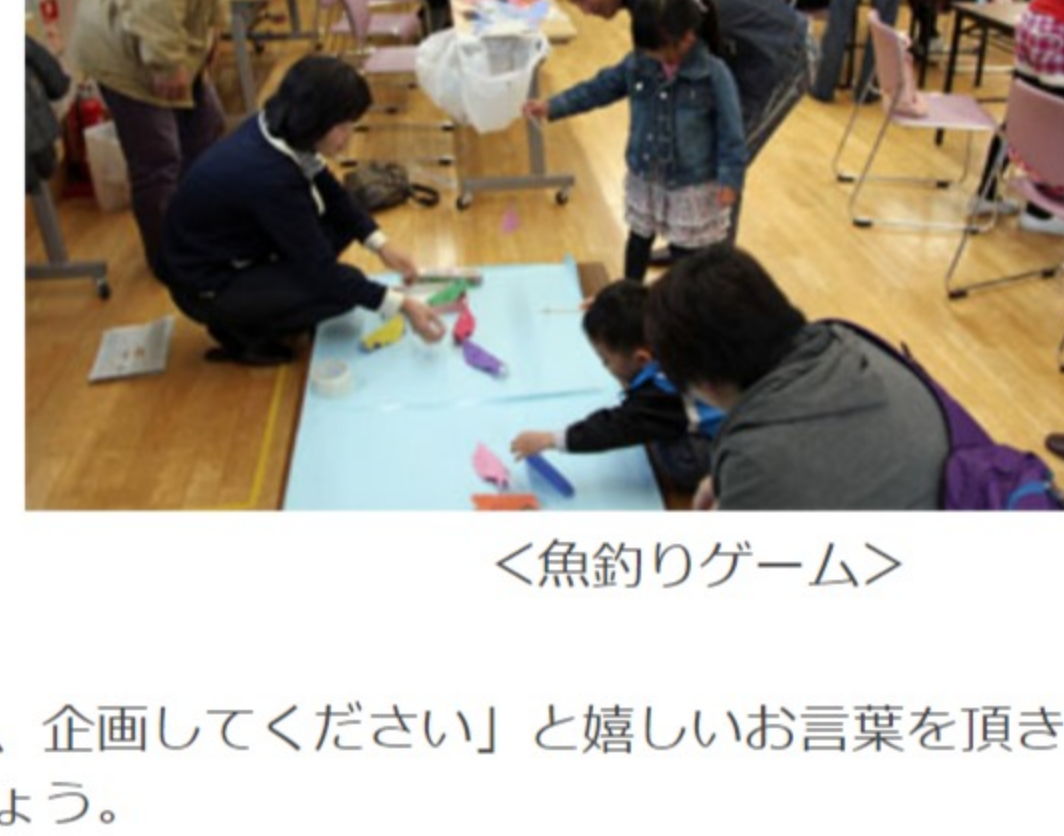
＜プラバンキーホルダー＞



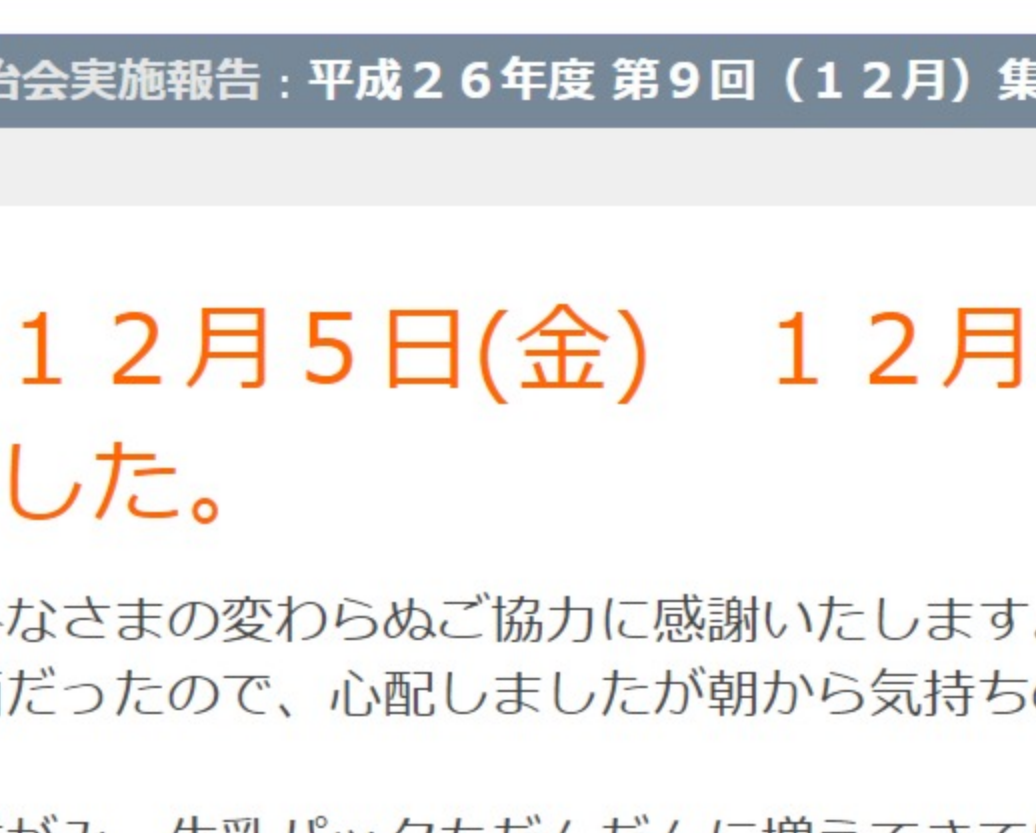
和室では、男の子も女の子もお手玉と指編みでエコたわしを作りました。



＜お手玉とエコたわし作り＞



紙相撲や、魚釣りゲームも何度も挑戦していました。



＜紙相撲＞



＜魚釣りゲーム＞

「楽しかった!」「もっと作りたい!」「また、企画してください」と嬉しいお言葉を頂きました。きっと、お家でも遊んでくれていることでしょう。

キッズフェスティバル実行委員会

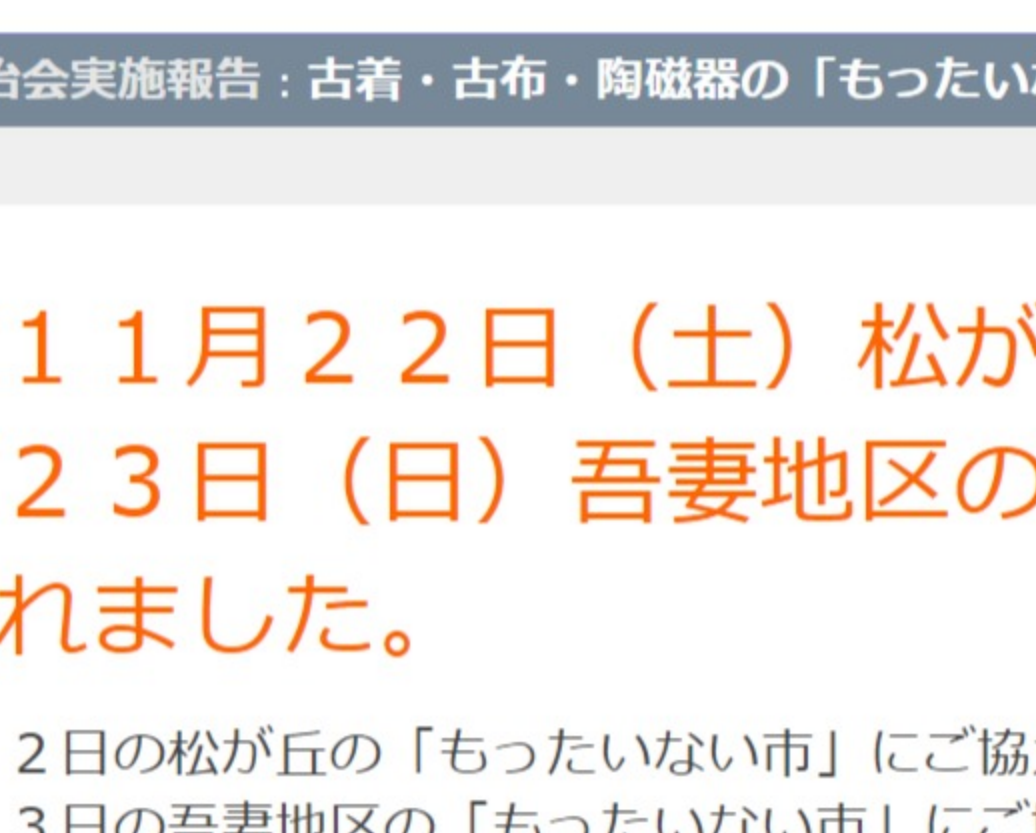
コメント

2.自治会実施報告：平成26年度 第9回(12月)集団資源回収の報告

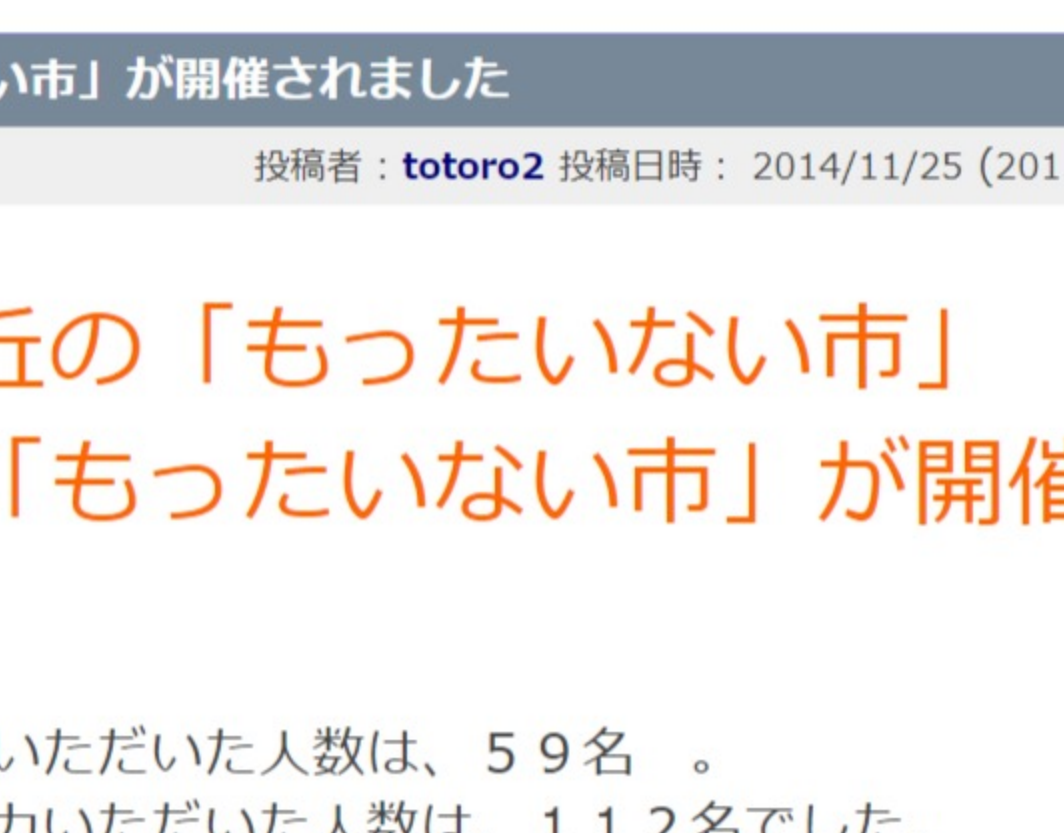
12月5日(金) 12月の1回目資源回収をおこないました。

みなさまの変わらぬご協力に感謝いたします。回収の総重量は、**16.35トン**でした。昨日は冷たい雨だったので、心配しましたが朝から気持ちのいい晴れの日でした。

雑がみ、牛乳パックもだんだん増えてきています。しかし、雑がみの回収にご協力いただいている方は、まだ約6割～7割です。資源回収は、新聞紙や段ボールだけではありません。今までの資源回収は新聞紙、段ボールのみを出されていた方が多いと思いますが、お菓子の箱や文房具の箱・カレンダー・折込チラシ・コピー用紙・はがき・封筒・包装紙・ノート・値札などどんな小さな紙でも再生されて、また紙になります。



＜だんだん増えてきている雑がみと牛乳パック＞



雑がみは、回収業者からのサービスの対象になりませんが、市からの報償金の対象になります。どんな小さな紙でも集めてください。こんな少し回収しても仕方ないんじゃないかと思わずに、ご協力ください。

12月の資源回収は2回あります。**2回目は、12月27日(土曜日)**です。この12月27日(土)は、1月の資源回収の振り替えです。1月の第1金曜日の資源回収は、ありませんのでご注意ください。

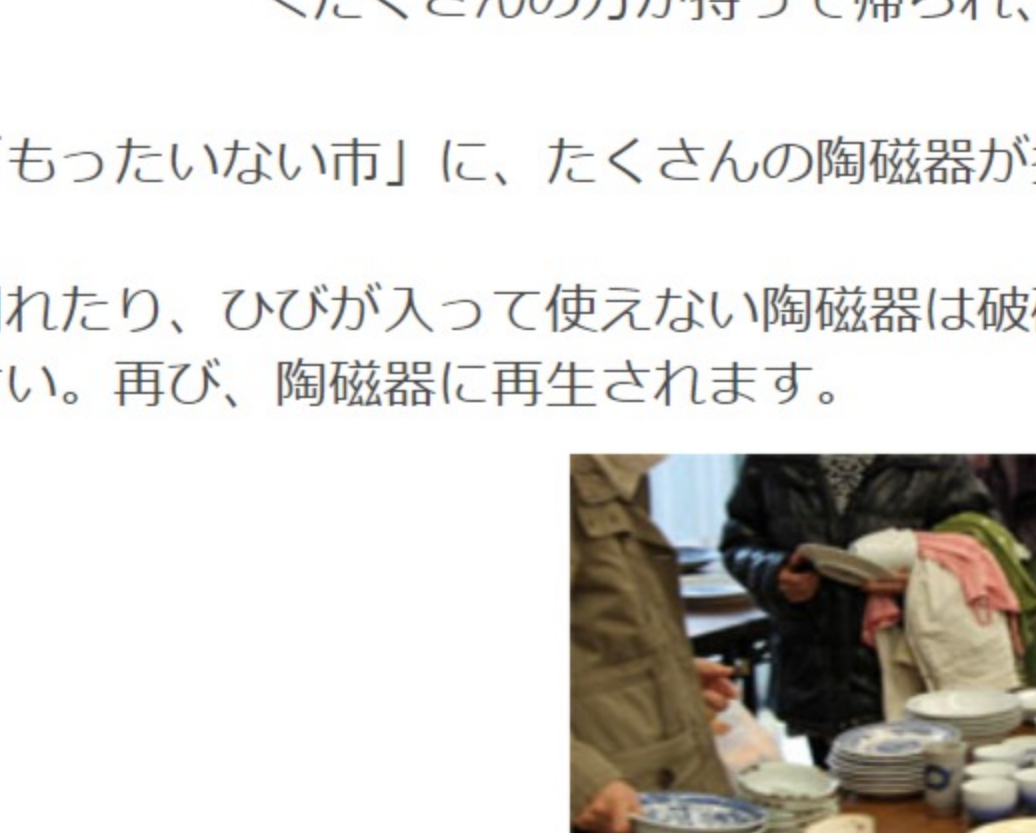
環境美化担当 松本 白井

コメント

2.自治会実施報告：古着・古布・陶磁器の「もったいない市」が開催されました

11月22日(土) 松が丘の「もったいない市」 23日(日) 吾妻地区の「もったいない市」が開催されました。

22日の松が丘の「もったいない市」にご協力いただいた人数は、59名。
23日の吾妻地区の「もったいない市」にご協力いただいた人数は、112名でした。



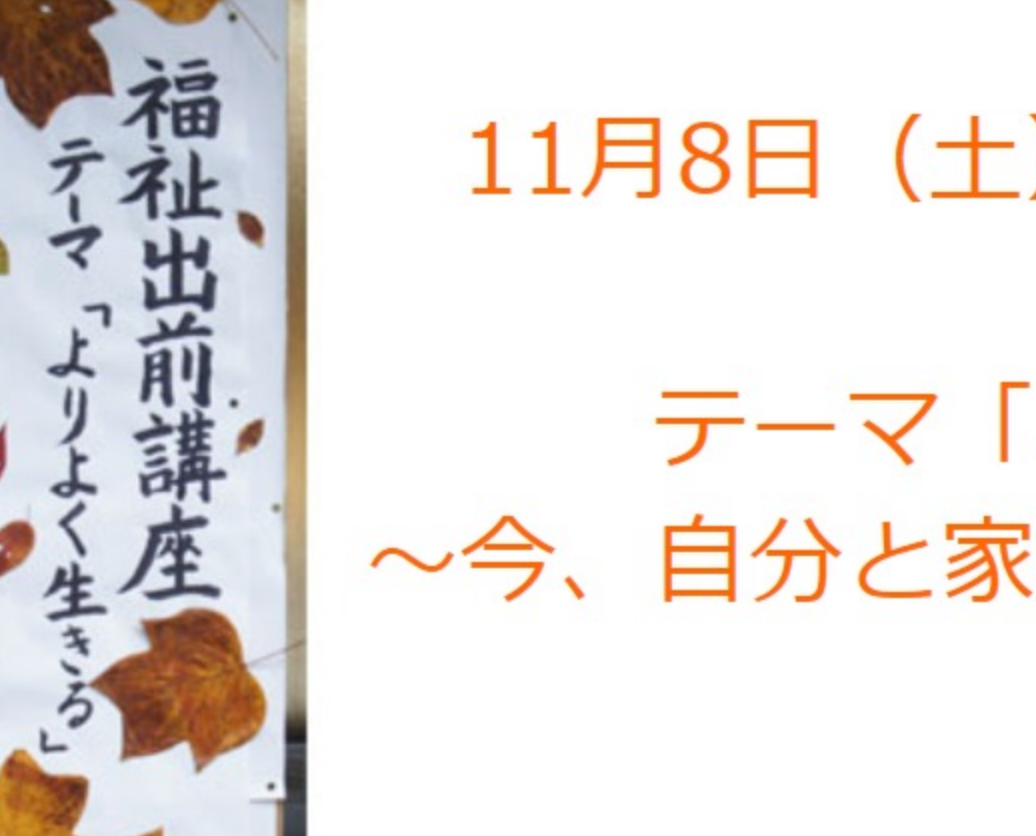
＜古着・古布・陶磁器の「もったいない市」＞



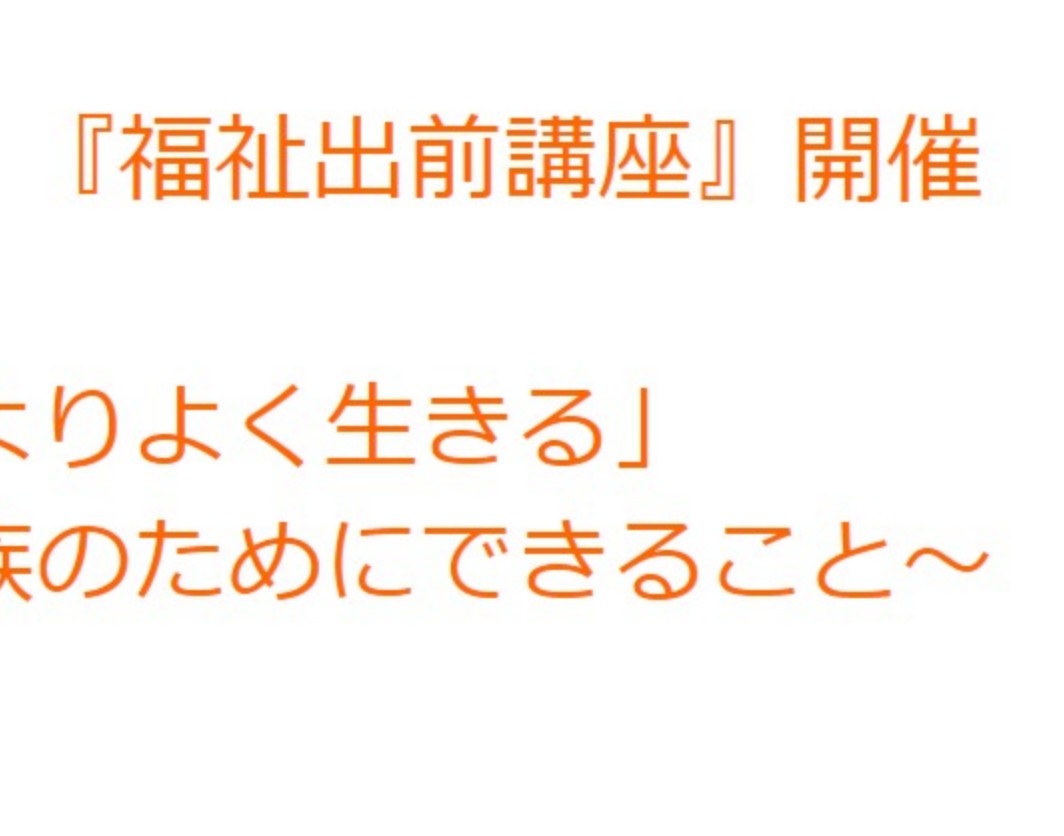
松が丘では、毎月集団資源回収で、古着・古布の回収をしています。毎月、たくさんのご協力を頂いていますが、資源になってしまうのは**もったいない**という古着や古布などがこの「もったいない市」に提供されました。

「もったいない市」に再利用として提供されたもので、どなたも持って行けなかったものは、市のリサイクル館に集められます。リサイクル館に入場した方に安価で販売され市の財政の収入になります。また、資源業者に買い取られ市の収入になります。

古着・古布は、かんたんに燃やすごみに出さずに再利用できるよう分別して限りある資源を大切に使っていきます。



＜たくさんの方が持って帰られ、ハンガーやテーブルが空きました＞



「もったいない市」に、たくさんの陶磁器が提供されました。

割れたり、ひびが入って使えない陶磁器は破砕ごみに出さず、「もったいない市」に提供してください。再び、陶磁器に再生されます。



＜多くの陶磁器も持って帰られました＞

たくさんのご協力に感謝いたします。

環境美化担当 松本 白井

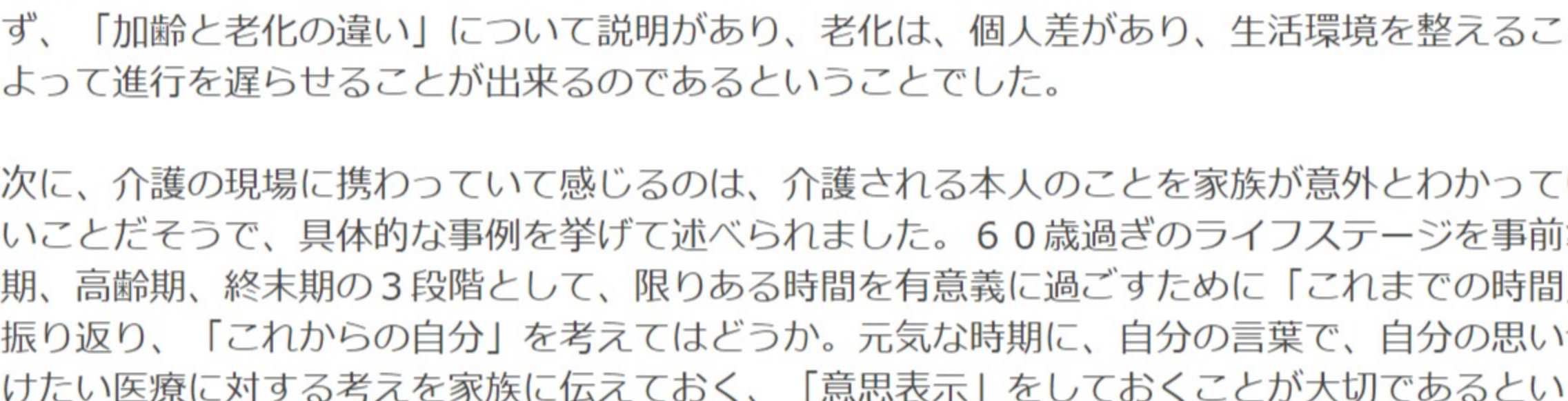
コメント

2.自治会実施報告：福祉出前講座を開催しました



11月8日(土) 『福祉出前講座』開催 テーマ「よりよく生きる」 ～今、自分と家族のためにできること～

秋も深まり、肌寒く感じられる中、中央会館に33名の方が足を運び、参加されました。今回は、介護の現場に携わっていらっしゃる方の生の声をお聞きしようということで吾妻地域包括支援センターの鈴木朋実さんに講師になっていただきました。



＜33名が参加した福祉出前講座＞

「自分らしく生きる」ためにどのようなことが大切なのでしょう。まず、「加齢と老化の違い」についての説明があり、老化は、個人差があり、生活環境を整えることによって進行を遅らせることが出来るのであるということでした。

次に、介護の現場に携わっていて感じるの、介護される本人のことを家族が意外とわかっていないことだそうで、具体的な事例を挙げて述べられました。60歳過ぎのライフステージを事前準備期、高齢期、終末期の3段階として、限りある時間を有意義に過ごすために「これからの時間」を振り取り、「これからの自分」を考えてはどうか。元気な時期に、自分の言葉で、自分の思いや受けたい医療に対する考えを家族に伝えておく、「意思表示」しておくことが大切であるということでした。そのためツールがいくつか紹介され、その中の一つ、府中市から発行されている「**未来ノート**」～わたしの生き方整理帳～が配られました。それは、考えが変わることもあるので記念の日などに見直し変更していくと良いということでした。

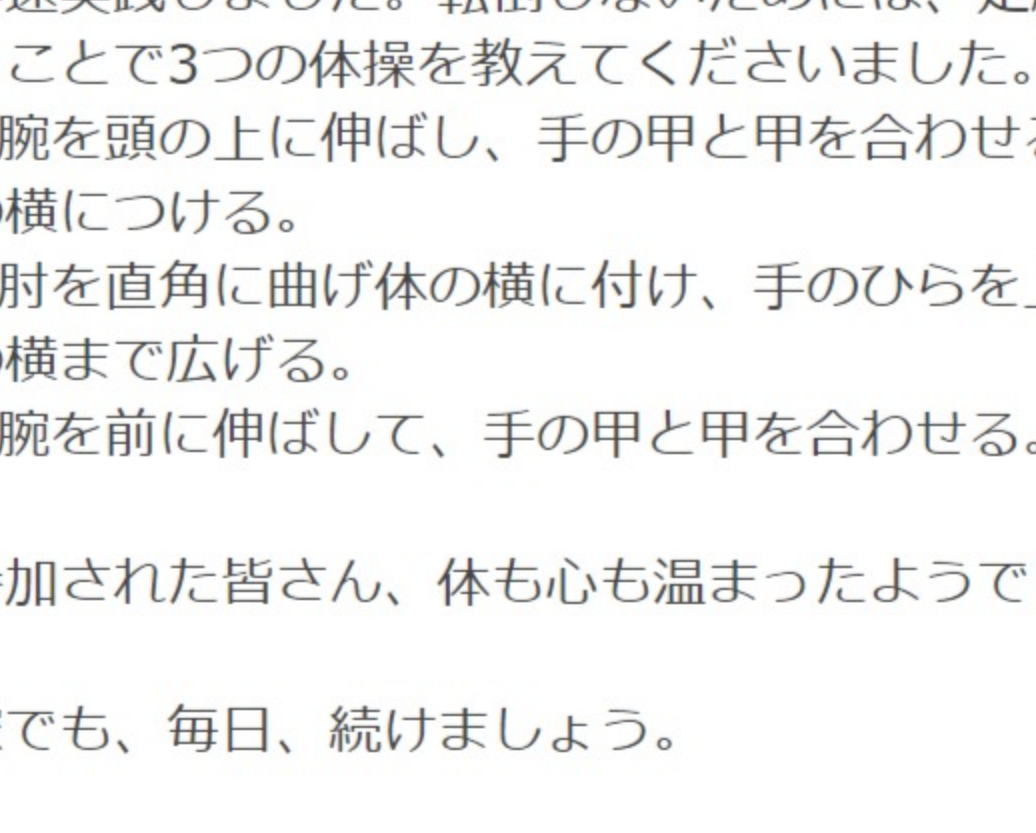
**限りある『時間』を『自分らしく』有意義に過ごし
次世代に『あなた』を伝えましょう。**



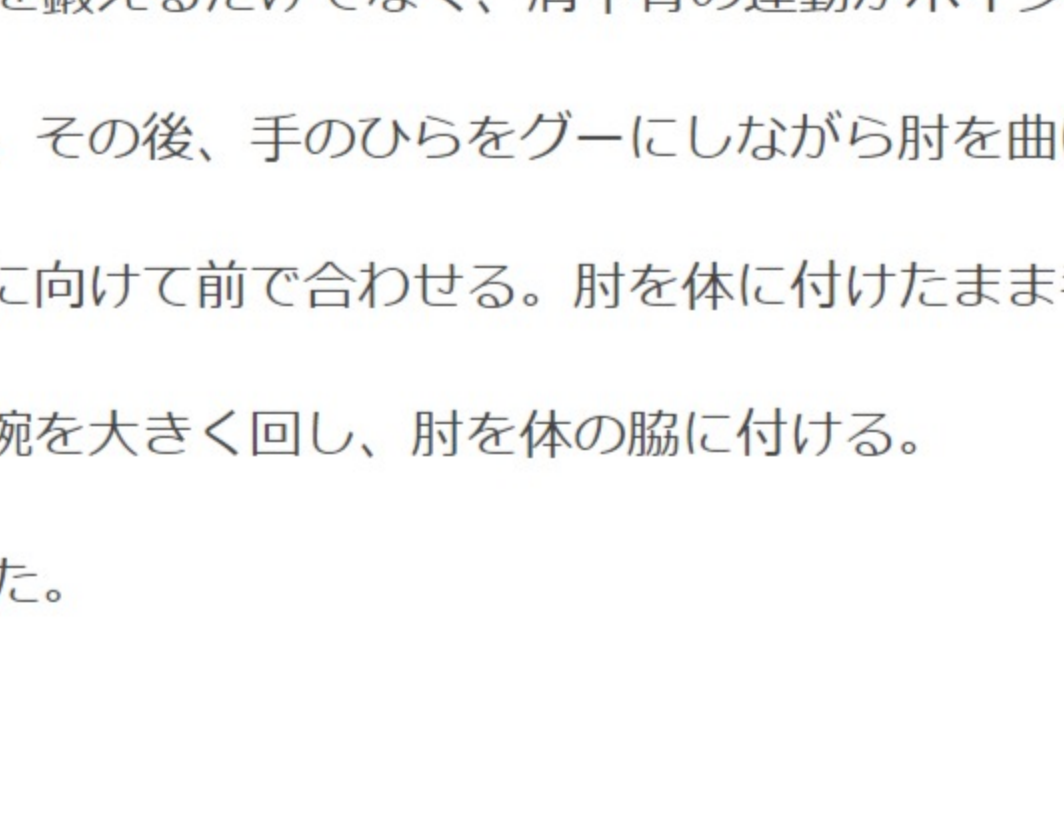
＜講師の吾妻地域包括支援センターの皆さま＞



＜肩甲骨体操(1)＞



＜肩甲骨体操(2)＞



＜肩甲骨体操(3)＞

お話の後は、老化防止、認知症防止のためには、転倒による骨折をしないことが大事と言うことで早速実践しました。転倒しないためには、足腰を鍛えるだけでなく、肩甲骨の運動がポイントと

(1) 腕を頭の上に伸ばし、手の甲と甲を合わせる。その後、手のひらをグーにしながら肘を曲げ、体の横につける。

(2) 肘を直角に曲げ体の横に付け、手のひらを上に向けて前で合わせる。肘を体に付けたまま手を体の横まで上げる。

(3) 腕を前に伸ばして、手の甲と甲を合わせる。腕を大きく回し、肘を体の脇に付ける。

参加された皆さん、体も心も温まったようでした。

家でも、毎日、続けましょう。

福祉担当理事 藤塚 佐野

コメント

2.自治会実施報告：平成26年度 第8回(11月)集団資源回収の報告

11月の集団資源回収が終わりました。たくさんのご協力をいただき感謝いたします。今月の回収結果は、18.6トンでした。

今日は風が強く、サービス品のトイレトロールが飛ばされてしまうのではないかと心配しました。その点、ビニールの袋のサービス品でしたらポストの中に入るのですが、トイレトロールは置き場所に苦労してしまいます。

新聞紙(1か月分、約10キログラム)、または、書籍(約20キログラム)を資源として玄関先に出したのにサービス品がもらえなかったという場合は、遠慮なさらずにすぐエコクルーの会社(TEL 0120-235-211)か、または、資源の担当の松本か白井へご連絡ください。

＜サービス品対象の新聞紙と書籍＞

12月の資源回収は、**12月5日(金)**と**12月27日(土)**の2回です。12月27日(土)は、1月の振り替えで行います。

資源物で場所を取ってしまい申し訳ありませんが、12月27日(土)の次は、**来年の2月6日(金)**です。溜めておいてください。

環境美化担当 松本 白井

コメント